

三滝中学校、第七十三回卒業生として、本校を巣立つ百四十八名のみなさん、卒業おめでとうございます。

「新型コロナウイルス」や「臨時休業」が私たちにとって忘れがたい言葉になってしまいました。今日この場で在校生や地域の方々皆さんに皆さんの晴れ姿を見てもらえないのは残念ですが、今、一人ひとりにお渡しした卒業証書には、その人たちの応援を含め、三年間の皆さん自身の頑張り、そして保護者の方々の深い愛情が込められています。どうかいつまでも大切にしてください

さて、卒業生の皆さんに対する私の最初の印象は、「あいさつをちゃんと返してくれて、人にやさしく接することができる」ということです。でも一方で、どこか不安そうで、周りの様子を気にしている姿も見え隠れしていました。

そんな一人ひとりに変化を感じたのが職場体験学習でした。みなさんは、職場の人やお客さんの期待に応えようと一生懸命働きました。そして職場の方々はそのみなさんの頑張りを認め、励ましてくれました。三日間の体験を終えた後の顔は少し自信がついたようですつきりとしていて、成長を感じました。

修学旅行の平和祈念資料館でのこと。展示を見て「気持ち悪い」と反応していた他校の中学生の様子を見て、「何なんあいつ、ゆるせやん」と真剣に怒っている三滝の子がいました。皆が平和を願うその空間で素

直に憤りを表した彼をたのしく思い、これまでの学習の成果を実感しました。

中体連の大会では、一回戦で負けてしまったけれど、精一杯頑張ったことに納得した姿や、全国大会まで勝ち進んでもなお負けて悔し涙を流す姿に心打たれました。

個々の成長だけではありません。

体育大会の大縄跳びでの「せーのーれーわー」の掛け声。令和元年と重なって思わず笑ってしまいました。特に3年生の一生懸命な掛け声とチームワークに、テントにいた来賓や保護者の方々からこやかな声援が聞こえてきてうれしかったです。

三滝祭の合唱コンクールについて、教育活動アンケートに、「三学年とも聞かせていただき、みなさんが一生懸命ですばらしかったです。他のクラスの歌の時間中みんなが聞いている様子もよかったです。3年間で一番今年がよかったです。」と三年生の保護者が書いてくれました。みなさんのがんばりはこんなところでも評価されています。

人が自らの足で立てるのは、「ところどころ見えないほどに小さな椅子がきちんと用意されて」いるからだ。臨床心理士で、「居るのはつらいよ」という本の著者、東畑開人さんが言っています。誰もが日々誰かの見えないほど小さなケアに支えられていると。

あなたは今、その小さな椅子が見えていますか。たぶんそれが見えるようになるのは、あなた自身がその「小さな椅子」になれたときだと私

は思います。居場所というのはそんなつながりの中にあるのでしよう。

現在、お掃除ロボットや自動運転で走る車が身近になりつつあります。

「ハイ・シリ、今から10年後の私は？」と、今使っているスマホに聞いてみました。すると、「すみません、よくわかりません」と無言のメッセージが画面に出ました。せめて、「あなたは幸せですよ」と言うてくれるとよいのですが……。

人工知能「AI」が急速に発達している今、十年後には、私の気持ちを察して答えを返してくれるかも知れません。それでも私はやっぱり、周りにあるであろう「小さな椅子」たちを探し、そんな椅子の一つになることができる「私」を探したいと思います。

あなたを気遣い、助けてくれる友達や先生、家族や地域の人たちのことを胸にしまい、この三滝中学校の三年間で経験した、楽しかったこと、頑張ったこと、時には悩み、挫折しそうになったことすべてをあなたの自信と誇りに変えて、新しい生活に挑んでください。

保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。

私たち教職員は、私たちなりに精一杯の関わりをしてきたつもりですが、保護者の皆様方の深い愛情には到底かないません。力の及ばなかったところも多かったにもかかわらず、この三年間、いつも、暖かいご理解とご支援をいただいてきました。この場をお借りして、心より感謝申

し上げます。ありがとうございました。

生徒たちはずいぶん成長していると私たちは確信しています。とはいえ、まだまだ大人の階段を上る途中です。どうぞ、子どもたちを信じ、励まし続けてあげてください。

さて、卒業生の皆さん。私たちは、皆さんの行く先々が、夢や希望に満ちた場所であることを祈っています。そして、皆さん一人ひとりが、誰からも大切にされ、自分自身を成長させていくことを応援し続けます。

昼食の時間に教室におじやますると、班のみんなが私の質問に素直に答えながら話に乗ってきてくれました。そんな皆さんの優しさが好きです。これからも、その優しさを忘れずに、自らの足で自分の道を歩いていってください。

あなたが幸せになることを心から願ひ、私のお祝いの言葉といたします。

令和二年 三月 六日

三滝中学校長 山下 博